Ⅲ　令和７年度原子力防災訓練住民配布用リーフレット

料金別納
郵便

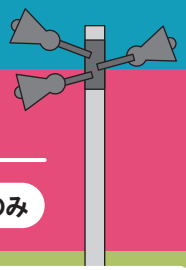
タウンプラス

お住まいの皆さまへ

お知らせ

令和7年度 原子力防災訓練

を行います。ご協力をお願いします。



住民避難訓練 実施日

令和7年11月15日（土）

令和8年1月24日（土） ※石巻市から加美町への避難訓練のみ

住民の皆様へ

原子力防災アイコン

スマートフォンから「宮城県原子力防災アプリ」をご体験ください（所要時間1分）

訓練当日、アプリに送られる通知に沿って、画面をタップするだけです。
アプリは**前日までにダウンロード**をお願いします。
また、本アプリの利用には、原子力防災アイコンをタップした時に表示される、**「規約等への同意ボタン」のタップ**も必要になりますのでご注意ください。
（同意済みの場合は、「規約等への同意ボタン」が表示されません）

ダウンロードは
こちら（県HP）

注意事項

訓練中は、防災行政無線や緊急速報メール等による広報を行いますので、ご理解とご協力をお願いします。
なお、事前に市役所、町役場から連絡のあった方以外は、**実際に避難していただく必要はありません。**
安定ヨウ素剤を事前に配布されている地域の方は、**誤って飲まないよう**に注意してください。



主　催　宮城県、女川町、石巻市、登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町

お問い合わせ先

宮城県復興・危機管理部原子力安全対策課	電話 022-211-2341	東松島市総務部防災課	電話 0225-82-1111（代）
女川町企画課	電話 0225-54-3131（代）	涌谷町総務課	電話 0229-43-2111（代）
石巻市危機管理部危機対策課	電話 0225-95-1111（代）	美里町防災管財課	電話 0229-33-2142
登米市総務部防災危機対策室	電話 0220-23-7393	南三陸町総務課	電話 0226-46-1376

差出　宮城県復興・危機管理部原子力安全対策課　〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3丁目8-1　TEL022-211-2341

ダウンロードは
こちらから!

アプリ導入方法は
こちらから!

宮城県原子力防災アプリについて

原子力災害時の避難を支援するスマートフォン向けアプリです。

デジタル身分証アプリ「ポケットサイン」のアイコンからお使いいただけます。

ご用意いただくもの（3点）

❶スマートフォン
（マイナンバーカード読込み対応のもの）

❷マイナンバーカード

❸マイナンバーカードの暗証番号

ポケット
サイン



原子力防災
アイコン

ご注意！ ご利用いただくには「原子力防災アイコン」から **規約等への同意ボタンをタップしてください。**

機 能 の ご 紹 介

1. 原子力災害発生時、登録されたご住所に応じた避難所などの情報を臨機応変にお知らせ



スマホに
お知らせが届きます

避難の開始について

女川原子力発電所の事故により、以下の地区に避難指示が出されました。あなたが避難する避難所は以下の通りです

名称:【避難所】○○体育館
所在:宮城県○○市○○字○○
地図URL: https://maps.app.goo.gl/CT8C1Wjv1gGc7JHfA

地図を見る

地図もお知らせします

2. 避難所到着後、お名前などの記入が不要な簡単受付



二次元コード
読み取りをタップ

避難所に掲示されている
二次元コードを枠内に映す

避難所受付済み
【避難所】○○体育館
宮城 太郎
2023/09/28 18:57:20
同行者を追加する

手続き完了
（スマホ画面に表示）

事前にご家族を登録いただくと「同行者を追加する」ボタンからご家族の受付もまとめて完了できます。（登録方法は裏面をご覧ください。）

3. 検査場所での検査済証をアプリに交付

検査済み証

通過した検査場所
【検査場所】○○運動公園

通過した時刻
2023年9月28日 20:59

従来の検査済証（紙）の携帯が不要になります。
※検査場所内で提示される二次元コードを読み込んでください。

アプリ画面のご説明



このアプリは、

災害時に使う機能

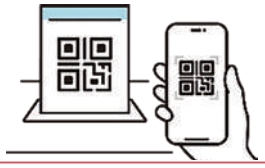
災害に備える機能を備えています。



災害時に使う

二次元コードの読み取り

災害時に避難所などの
二次元コードを読み込むだけで
正確かつ迅速な登録ができます



避難状況の登録

どのような避難
状況にあるかを
登録できます

家族などの
避難状況も
同行者として
まとめて登録できます



災害に備える

アレルギーの登録



主要なアレルギーから
選択できます



該当する項目がない場合
は、自分でアレルギー情報
の編集・追加も可能です

みまもりリストの登録



マイナンバーカード
などでご家族を登録
することができます

登録した情報は、避難状況
の管理等に使用されます

じぶんの避難所

自治体が登録し
た避難所などが
表示されます

詳細から施設の地図
を見ることができます

アプリのダウンロードはこちら（裏表紙）から

OPEN

原子力防災訓練の目的

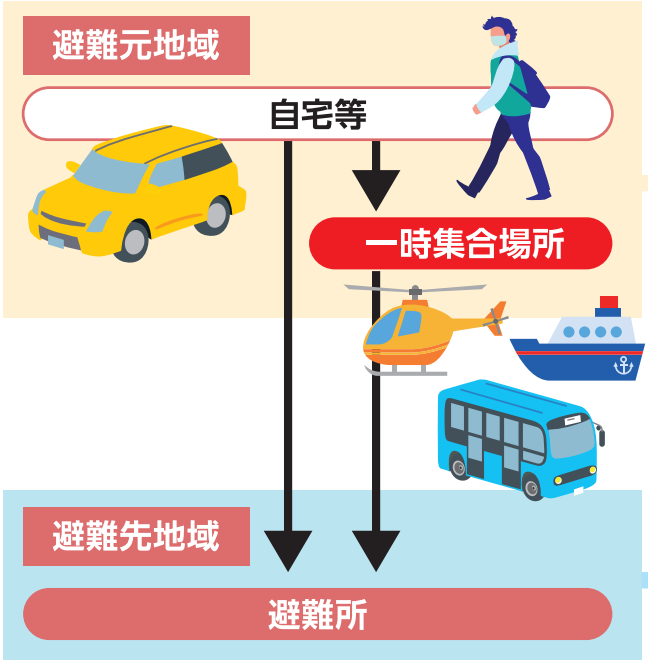
女川原子力発電所で事故が発生した場合に備え、県及び関係市町では、年1回、原子力防災訓練を実施しています。
原子力防災訓練は、原子力発電所で重大事故が発生したとの想定で住民の各種防護対策を実施し、防災対策の手順等を確認するものです。また、住民の皆様には避難訓練等への参加を通じて、緊急時にどのような行動が必要なのかを確認していただきます。

一部の住民の方を対象にした避難訓練を行います

（事前に市役所、町役場から連絡のあった方以外は、実際に避難していただく必要はありません）

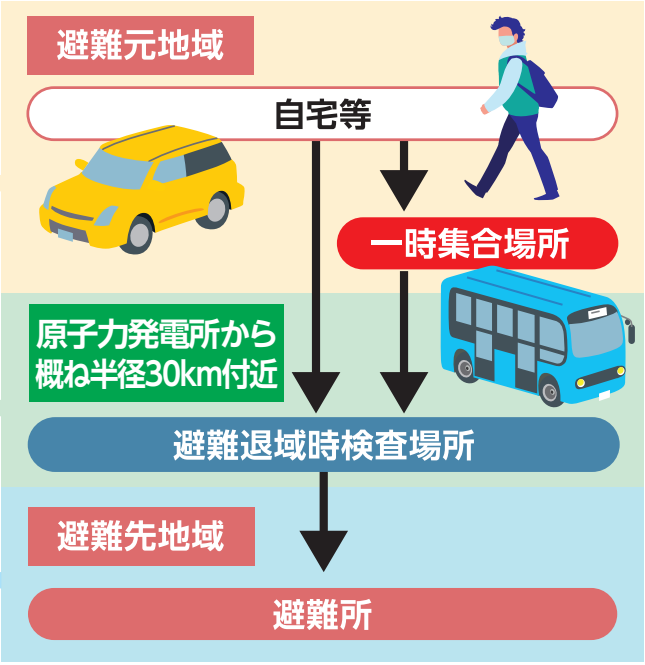
対象:PAZ、準PAZにお住まいの方

避難の流れ



対象:UPZにお住まいの方

一時移転の流れ



避難方法

●避難指示、一時移転指示が出された場合は、自家用車等で指定された避難所に避難します。
●自家用車による移動ができない場合は、指定された一時集合場所に集合し、用意されたバス、船舶、ヘリコプター等で避難します。



避難退域時検査場所

●放射性物質が放出された後に避難する場合は、指定された「避難退域時検査場所」を経由し、放射性物質の付着状況を検査します。
●車両や代表者の検査を行い、必要に応じて簡易除染を実施します。



避難所

●指定された避難所に移動します。
●「宮城県原子力防災アプリ」を利用することで、行き先の避難所をプッシュ通知でお受け取りいただけます。
●アプリの二次元コード読込機能を使うと、避難所へ簡単にチェックインすることができます。



■訓練の内容は県原子力安全対策課ホームページにも掲載しています。
https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gentai/gentaib-kunren.html

主な訓練実施場所



※災害等が発生し、又は発生するおそれのあると認められるときなどは、訓練内容や訓練実施場所等が一部変更となることがあります。

原子力防災のしおり

女川原子力発電所で事故が発生した場合には、事故の進展に応じた必要な対策がとられますので、
住民の皆様は県や市町からの指示に従って、落ち着いて行動してください。

原子力災害の情報を聞いたら何をするの？



宮城県原子力防災アプリから送付されるプッシュ通知を確認し、原子力災害の状況を把握してください。



正確な情報収集のため、テレビ、ラジオのスイッチを入れてください。



防災行政無線、広報車、インターネットなどの情報に注意してください。



漁船や航行中の船舶には、海上保安庁や漁業無線局等より情報をお伝えします。



ご近所の方と情報の確認をしてください。



県や市町の情報に従って行動し、誤った情報にまどわされないようにしてください。

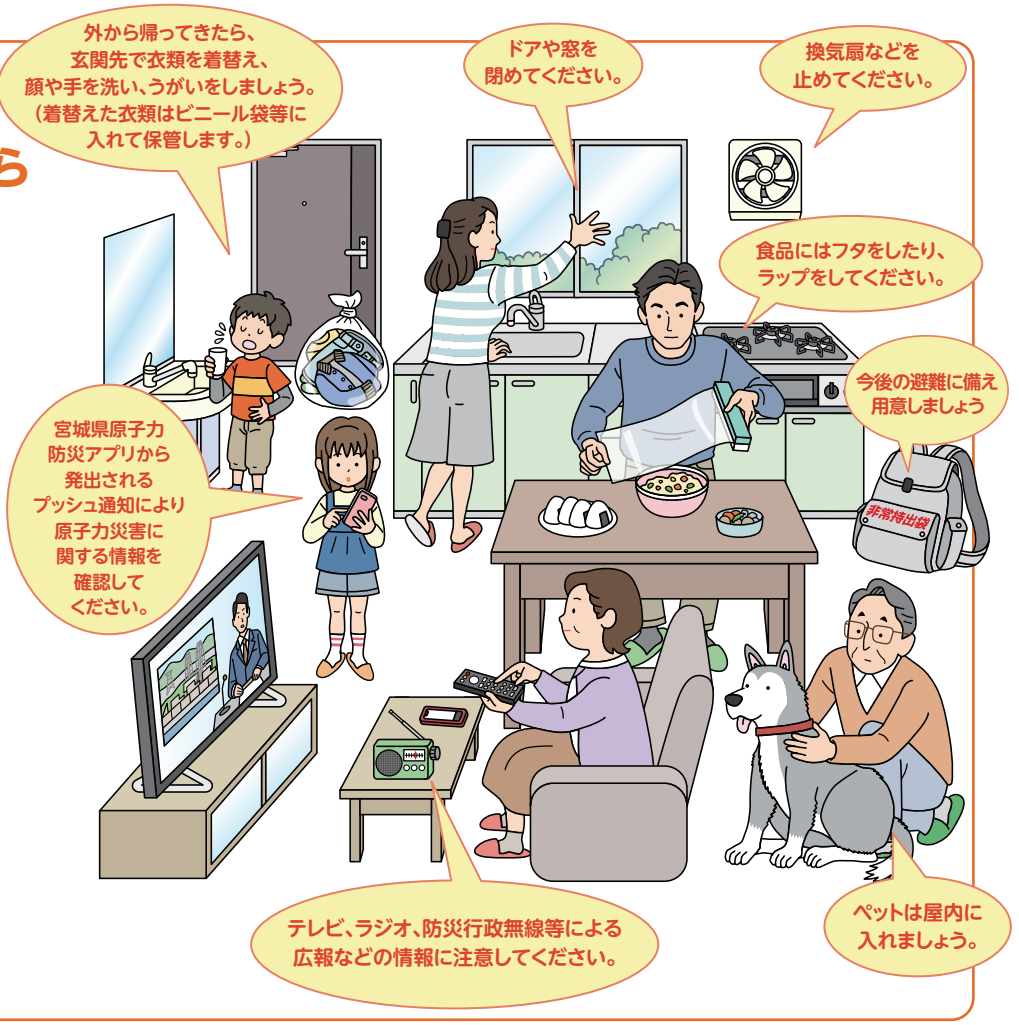
屋内退避の指示が出されたら

- 屋内に退避することにより、放射線の影響を少なくすることができます。
- 直ちに自宅に戻り、そのまま待機してください。
- 自宅の近くにいない場合は、最寄りの公共施設の屋内に退避してください。

〈屋内退避時の注意点〉

感染症流行時においても、屋内退避の際は、換気を行わないことが原則となりますが、訓練においては、感染症対策を優先してください。

※一般的なエアコンは外気を取り入れないので、屋内退避中でも使用できます。
※換気機能付きのエアコンは換気機能を切って使用してください。



●実際に原子力災害が起きてしまった場合に備えて、「原子力防災のしおり」や「原子力防災の手引き」※を読んで、どのように行動すればよいかを確認しましょう。

※「原子力防災の手引き」は、女川原子力発電所から概ね30km圏内に位置する行政区内のご家庭に全戸配布しています。県原子力安全対策課のホームページからダウンロードすることもできます。

https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gentai/tebiki.html



Ⅳ　令和７年度原子力防災訓練報道機関取材資料

宮城県
Miyagi Prefecture

記　者　発　表　資　料
令和７年１０月２１日
復興・危機管理部原子力安全対策課
022-211-2341 担当：太田、目黒

令和７年度原子力防災訓練について

災害対策基本法、原子力災害対策特別措置法及び宮城県地域防災計画〔原子力災害対策編〕に基づき、令和７年度原子力防災訓練を実施しますので、お知らせします。

１　目　的

（１）原子力災害発生時における関係機関の防災体制や相互連携に係る実効性の確認
（２）各種計画やマニュアル等に基づく手順の確認
（３）関係機関やその要員における原子力防災技術の向上
（４）女川地域の緊急時対応を検証し、訓練結果を踏まえた教訓事項の抽出・改善

２　実施日

（１）図上訓練　　令和７年１１月１１日（火）
（２）住民避難訓練　令和７年１１月１５日（土）
　　令和８年　１月２４日（土）※石巻市から加美町への避難訓練のみ

３　主　催

宮城県、女川町、石巻市、登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町

４　訓練項目

県・市町災害対策本部運営訓練、県現地災害対策本部運営訓練、オフサイトセンター運営訓練、緊急時通信連絡訓練、住民避難等訓練、緊急時モニタリング訓練、広報訓練、原子力災害医療活動訓練、交通対策等措置訓練、原子力災害避難支援アプリ運用訓練

５　重点事項

（１）原子力災害の事態進展に対応した災害対策本部の運営体制の確認
　施設敷地緊急事態及び全面緊急事態（ＯＩＬ２確定後）を含む事態進展を想定した訓練を実施し、複合災害に係る被害状況の把握・情報共有、応急対策の検討・調整手順を確認する。
（２）防護措置の対応方針の協議及び応急対策実施の手順確認
　オフサイトセンターにおいて、関係機関との連携による防護措置の検討・調整等を行い、原子力災害合同対策協議会を通じて必要な情報共有、応急対策を実施する手順を確認する。
（３）「女川地域の緊急時対応」等に基づく防護措置の手順確認・検証
　「女川地域の緊急時対応」に取りまとめられた避難計画等に基づく避難及び一時移転等の防護措置について、実施手順の確認や検証を行う。
（４）原子力防災に関する住民の理解促進
　屋内退避・避難等の防護措置の実践のほか、住民のニーズに合わせた学習会の開催等により、原子力防災の重要性や防護措置の手順について、住民理解の促進を図る。

６　実施概要

（１）住民参加人数　約２５０人

（２）参加機関　国、自衛隊、警察本部、仙台市、栗原市、大崎市、加美町、色麻町など
計８０機関・約６５０人（主催自治体含む）

（３）今年度訓練の主な内容

イ　図上訓練

- PAZ 住民避難に係る調整（午前：放射性物質放出前の想定）
- UPZ 住民一時移転に係る調整（午後：放射性物質放出後の想定）
- オフサイトセンターと関係市町の TV 会議を活用した情報共有

ロ　住民避難訓練

- アプリの機能を活用した住民避難の実施
- 改善工事を行った避難退域時検査場所のレイアウト検証
- 孤立地域を想定したヘリコプターによる空路避難の実施
- 孤立地域への物資供給を想定したドローンのデモフライト

７　想定

三陸沖を震源とした地震が発生し、女川町及び石巻市で震度６強を観測。直後の大津波警報発令に伴い、女川原子力発電所２号機が緊急停止。その後、機器故障によって原子炉注水機能を喪失、炉心損傷に至り、放射性物質が放出され、一時移転が必要な空間放射線量率の上昇が認められる地点が生じる状況になった。

８　訓練の中止

災害等の発生及び発生の恐れがある場合など、やむを得ず訓練の中止や縮小等をすることがあります。訓練内容の変更・中止は、下記ウェブサイトに掲載しますので確認願います。

https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gentai/gentaib-kunren.html

---

※本資料は、下記記者クラブに発表しています。

「宮城県政記者会」及び「石巻記者クラブ」

令和７年度原子力防災訓練の取材について（お願い）

令和７年度原子力防災訓練の取材にあたりまして、当日は下記の点について御配慮いただきますようお願いします。

記

1　取材対応が可能な日時・場所は下記枠内のとおりです。詳細は別添「令和７年度原子力防災訓練実施要領」の資料１を参照願います。

2　取材の際は、当日、会場の受付で名刺を提出の上、各社の腕章を着用してください。

3　取材時は、訓練に支障がないよう配慮するとともに、職員の指示に従ってください。

4　訓練進行上、各訓練項目の開始時間が多少前後する場合があります。

5　訓練会場及び訓練実施中の関係者へのインタビュー等は、御遠慮ください。

6　１１月１５日（土）の住民避難訓練の終了後に訓練実施結果（速報）の記者発表（投込み）を行います【16:30 頃を予定】。

令和７年１１月１１日（火）実施分

（１）女川オフサイトセンター（牡鹿郡女川町浦宿浜字十二神 60-46）

時間：9:45～15:30【受付：9:30～9:45】

内容：県現地災害対策本部運営訓練、オフサイトセンター運営訓練、緊急時モニタリング活動訓練

※12:00 頃から、県原子力防災対策担当課長が取材対応予定

（２）宮城県行政庁舎（４階：庁議室）

時間：11:30～12:00【受付：11:00～11:30】

内容：県災害対策本部運営訓練（災害対策本部会議）

※本部会議終了後、知事又は危機管理監が取材対応予定

令和７年１１月１５日（土）実施分

（１）登米市登米総合体育館（登米市登米町寺池目子待井 10 番地）

時間：10:00～11:30【事前説明：9:45～】

内容：避難退域時検査場所活動訓練　※車両通行のみ（住民への取材不可）

※訓練終了後、県原子力防災対策担当課長が取材対応予定

（２）登米市中田農村環境改善センター（登米市中田町上沼字西桜場 18 番地）

時間：11:00～12:30【事前説明：10:50～】

内容：避難所運営訓練（物資供給を想定したドローンデモフライトも実施）

※参加住民２名への取材時間を設ける予定（11:35 頃）

※上記終了後、県原子力安全対策課長が取材対応予定

（３）石巻市立河南西中学校（石巻市北村字小崎一 37 番地２）

時間：　9:30～9:40【撮影のみ可。問合せ対応は不可。】

内容：航空自衛隊のヘリコプターによる空路避難（着陸地点）

令和８年１月２４日（土）実施分

詳細がまとまりましたら改めてお知らせします。

県現地災害対策本部運営訓練・オフサイトセンター運営訓練（女川オフサイトセンター）

訓練日：令和７年１１月１１日（火）

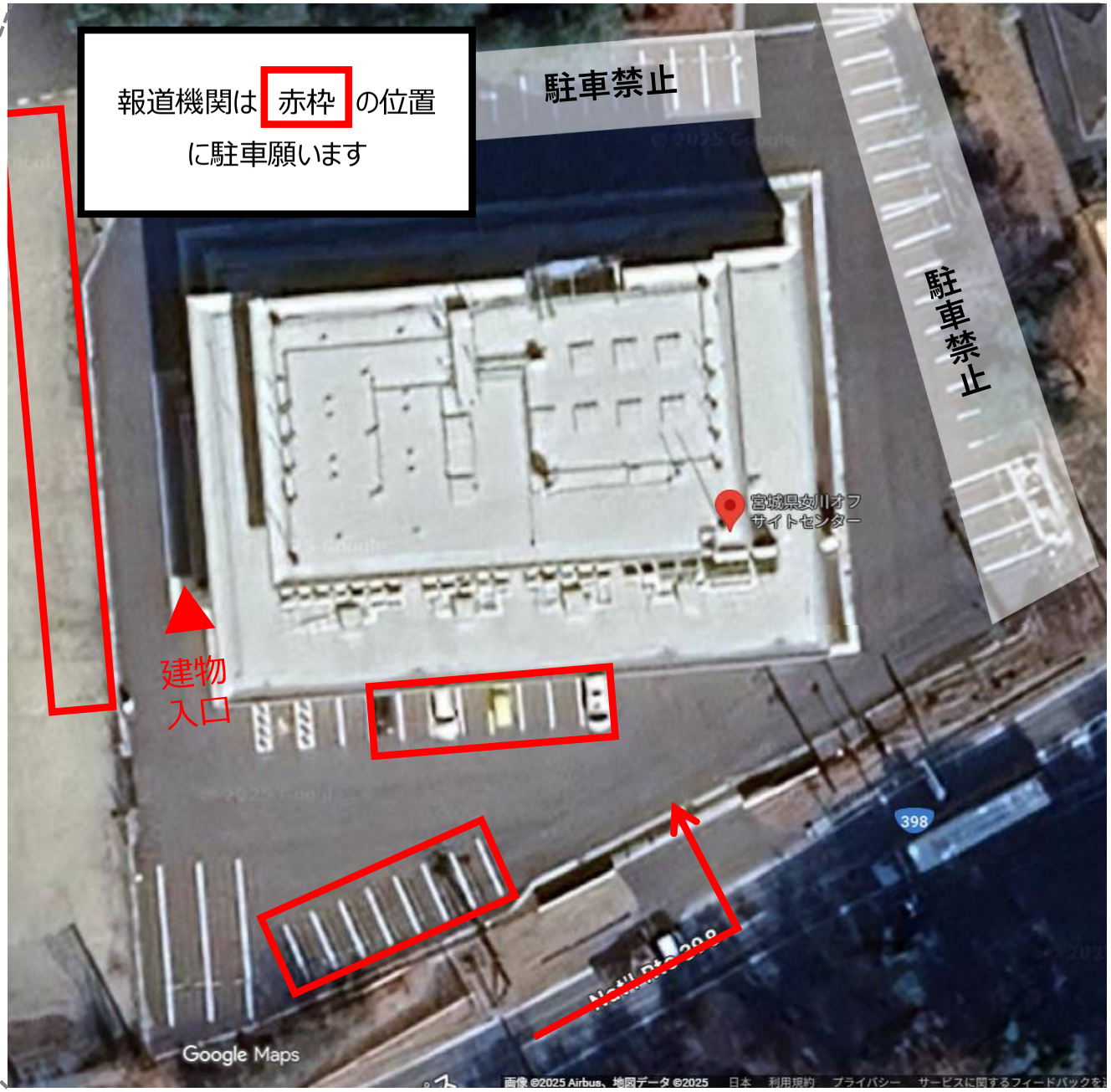
場所：牡鹿郡女川町浦宿浜十二神60-46

【タイムスケジュール】

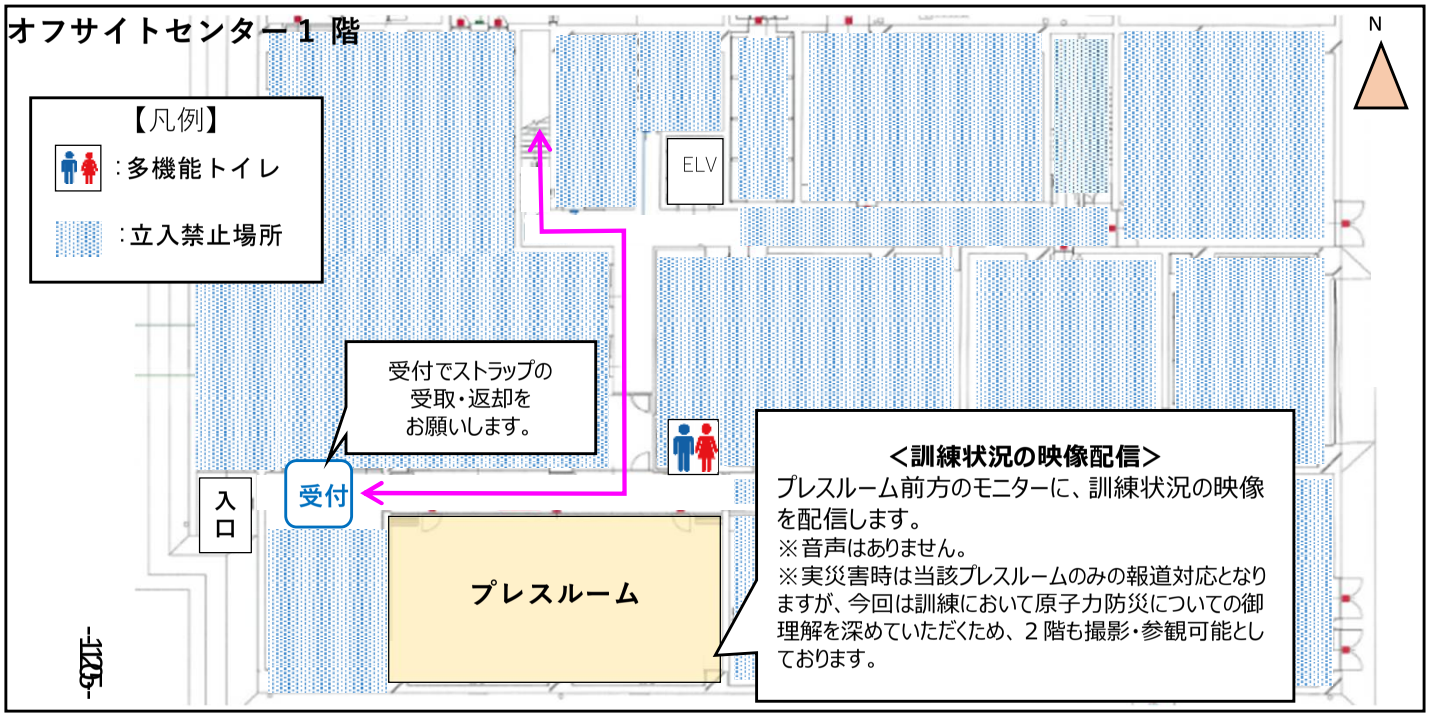
09:30　受付開始
　↓（受付場所は次ページ参照）
09:45　概要説明
　↓
10:00　訓練撮影・参観
　↓（撮影・参観可能エリアは次ページ参照）
12:00　休憩
※休憩中、希望がある場合は、１階・プレスルームにおいて県原子力安全対策課・原子力防災対策担当課長による取材対応を行います。
13:00　訓練再開
15:30　訓練終了（撮影・参観対応終了）

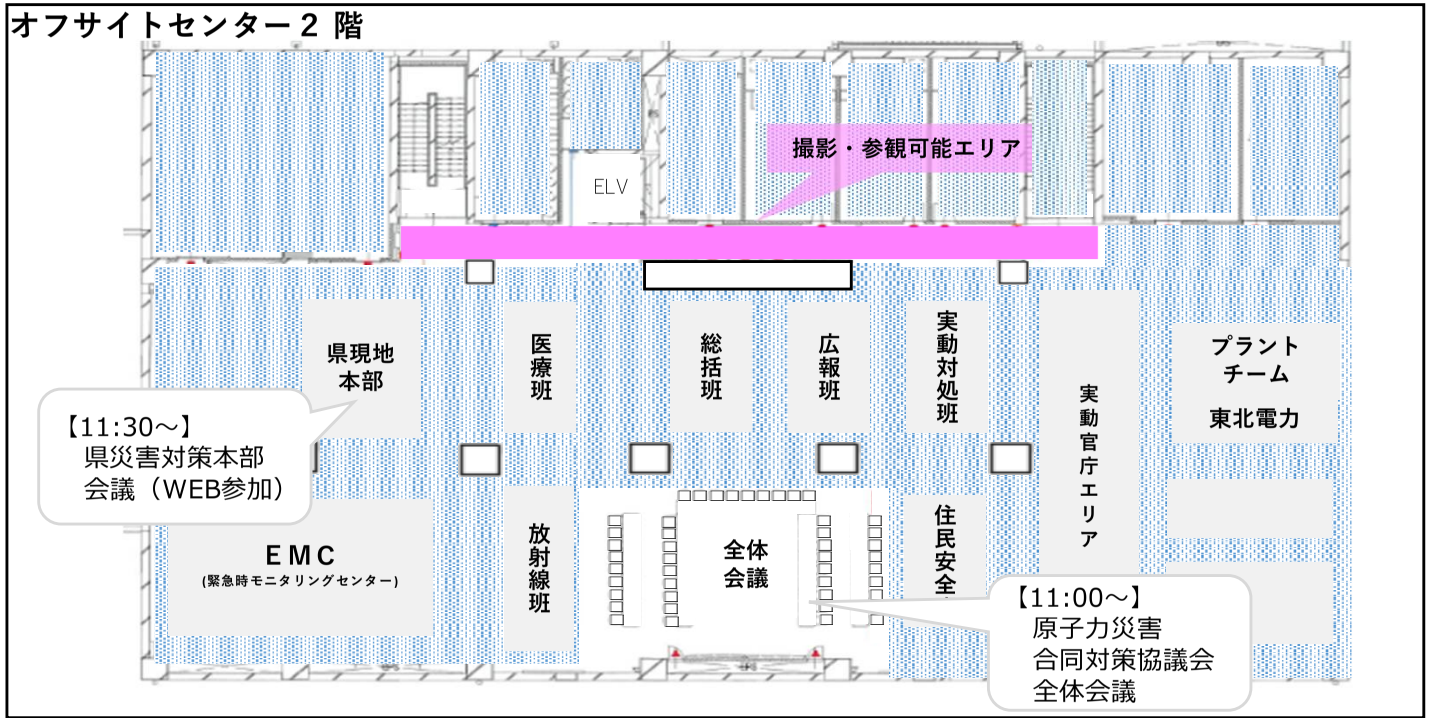


【駐車場所位置図】



県現地災害対策本部運営訓練・オフサイトセンター運営訓練（撮影・参観時の注意事項）





【注意事項】

- プレスルームでの概要説明の後、担当職員が２階まで誘導します。
- 撮影・参観時は、職員の指示に従ってください。
- センター内では、受付で配布するストラップを着用願います。
- 撮影・参観可能エリア以外には立ち入らないようお願い致します。
- 私語等会話は、お控えください。また、訓練参加者への取材や、訓練の妨げになる行動はお控えください。
- 建物内は飲食禁止です。
- トイレは１階多機能トイレを利用願います。

【撮影・参観場所】

- ２階撮影・参観可能エリア【左図 ■ 】から訓練の撮影・参観が可能です。
- 全体会議時など、担当職員が撮影・参観場所を誘導する場合がありますので指示に従ってください。

＜参考＞

10:35頃　全面緊急事態（GE）

11:00～　原子力災害合同対策協議会・全体会議

全体会議エリアにおいて７市町とTV会議を接続の上、国、県、市町によるGEにおける防護措置等を確認

11:30～　県災害対策本部会議（WEB参加）

県庁で開催される県災害対策本部会議に現地災害対策本部からWEB会議で参加

13:00～　可搬型ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞﾎﾟｽﾄ設置訓練（屋外）

撮影・参観を希望する場合は1階プレスルームに集合

県災害対策本部運営訓練（県災害対策本部会議：行政庁舎４階･庁議室）

訓練日：令和７年１１月１１日（火）

場所：仙台市青葉区本町三丁目８番１号

【タイムスケジュール】

11:00　受付開始（庁議室入口）

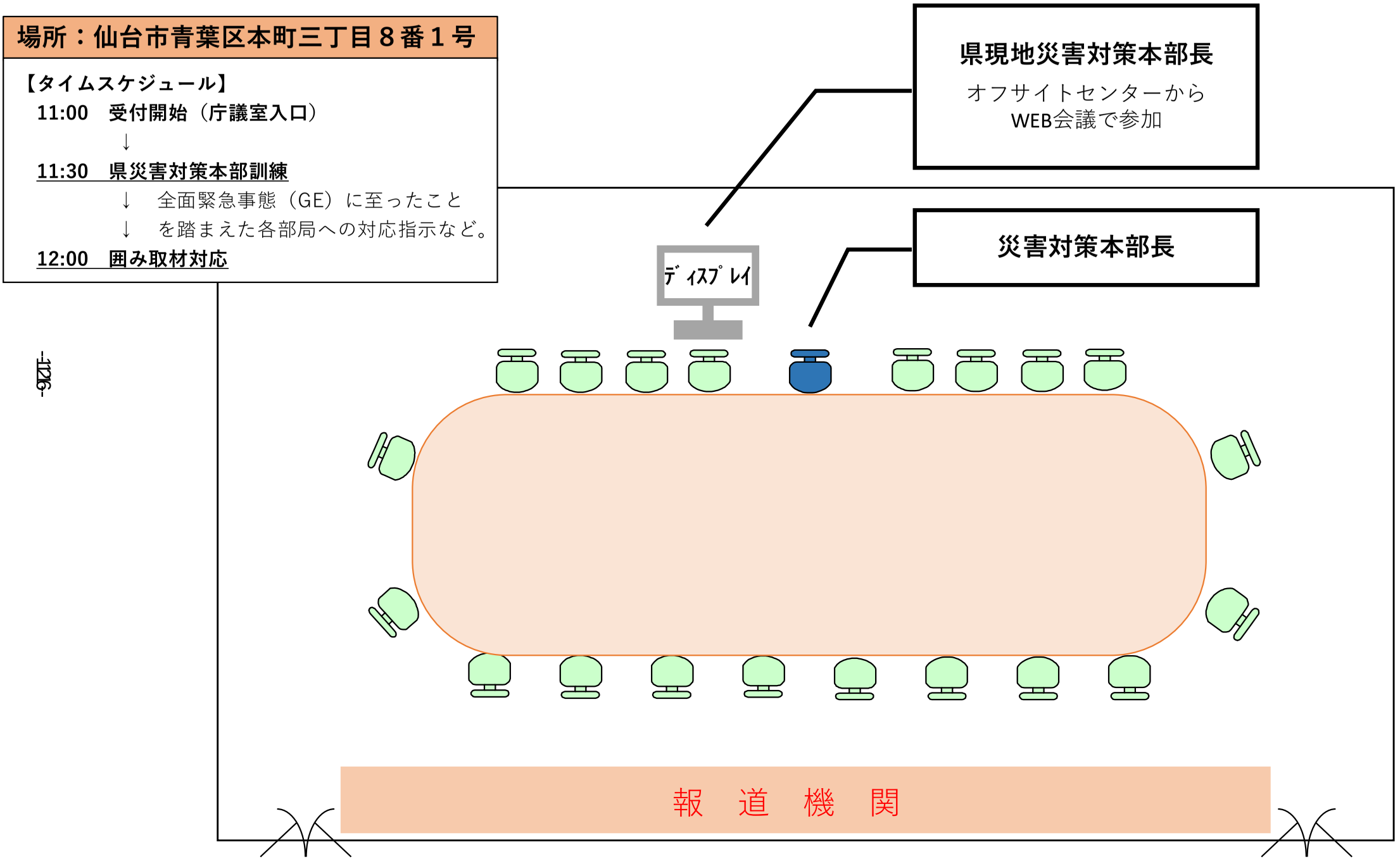
↓

11:30　県災害対策本部訓練

↓　全面緊急事態（GE）に至ったこと

↓　を踏まえた各部局への対応指示など。

12:00　囲み取材対応



住民避難訓練（避難退域時検査場所活動訓練：登米市登米総合体育館）

訓練日：令和７年１１月１５日（土）

場所：登米市登米町寺池目子待井10番地

【タイムスケジュール】

09:45　事前説明（参観者・報道機関向け）
↓　（受付場所は右図「会場本部テント」です）
10:00～　車両到着・検査実施（女川町住民）
10:45～　車両到着・検査実施（登米市住民）
11:10頃　汚染傷病者の救急搬送
↓
～11:30　訓練終了

【注意事項】

- 訓練進行の都合上、住民への取材はできません
- 避難所（登米市中田農村環境改善センター）もあわせて参観・取材する場合は10:30頃には移動を開始する必要があります。





避難退域時検査場所レイアウト（登米市登米総合体育館）

会場内は車両が走行します。
参観・撮影場所については、
職員の指示に従ってください。

検査の流れ

車両検査
ゲート型モニタ・GMサーベイメーターによる車両の指定箇所検査（全台検査）

車両確認検査
上記における基準値超過車両の確認検査の実施

（基準値超過）

簡易除染
車両の簡易除染の実施

（徒歩で移動）

住民検査
住民代表者の検査
※基準値超過時は全員検査

（基準値超過）

簡易除染
住民の簡易除染

（簡易除染後も基準値超過）

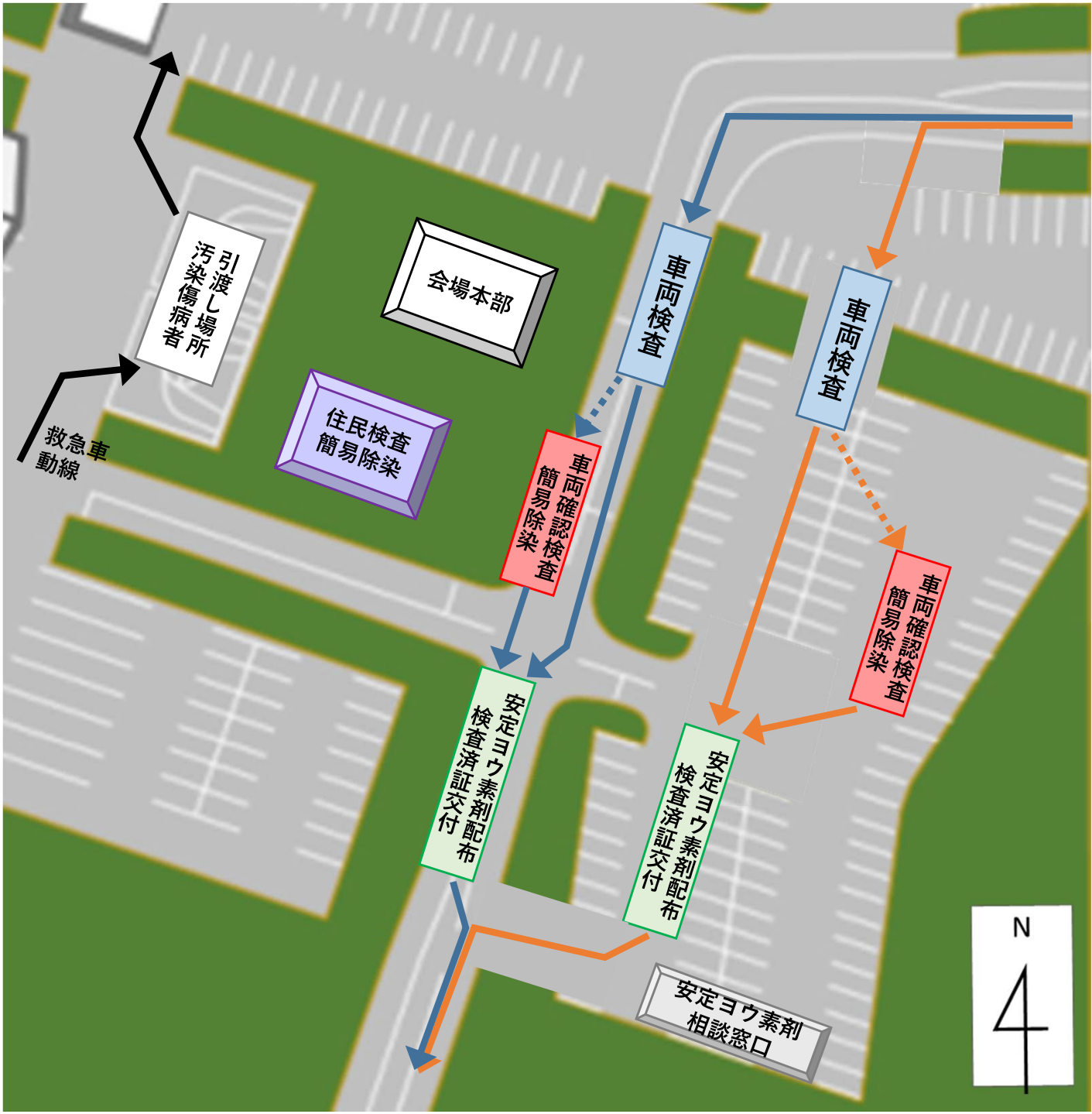
医療機関で処置

検査済証交付
安定ヨウ素剤配布

避難先へ

アプリ利用者は
検査済証交付用
二次元バーコードを読込み

原子力防災



住民避難訓練（避難所運営訓練･ドローンによる物資供給訓練：登米市中田農村環境改善センター）

訓練日：令和７年１１月１５日（土）

場所：登米市中田町上沼字西桜場18番地

【タイムスケジュール】

10:50～	事前説明（参観者・報道機関向け）
11:00頃～	登米市住民乗用車到着・避難所受付
11:25	登米市住民バス到着・避難所受付
11:35～	登米市住民インタビュー　※住民インタビューの時間を設けますので、 住民への個別取材は御遠慮願います。
11:50～	囲み取材対応（原子力安全対策課長・登米市長）
12:10～	ドローンによる物資供給訓練



避難所運営訓練（登米市中田農村環境改善センター会場レイアウト）

◆この会場は登米市の住民避難訓練の避難所です。

◆原子力防災アプリの利用者は、アプリによる避難所受付を行います。

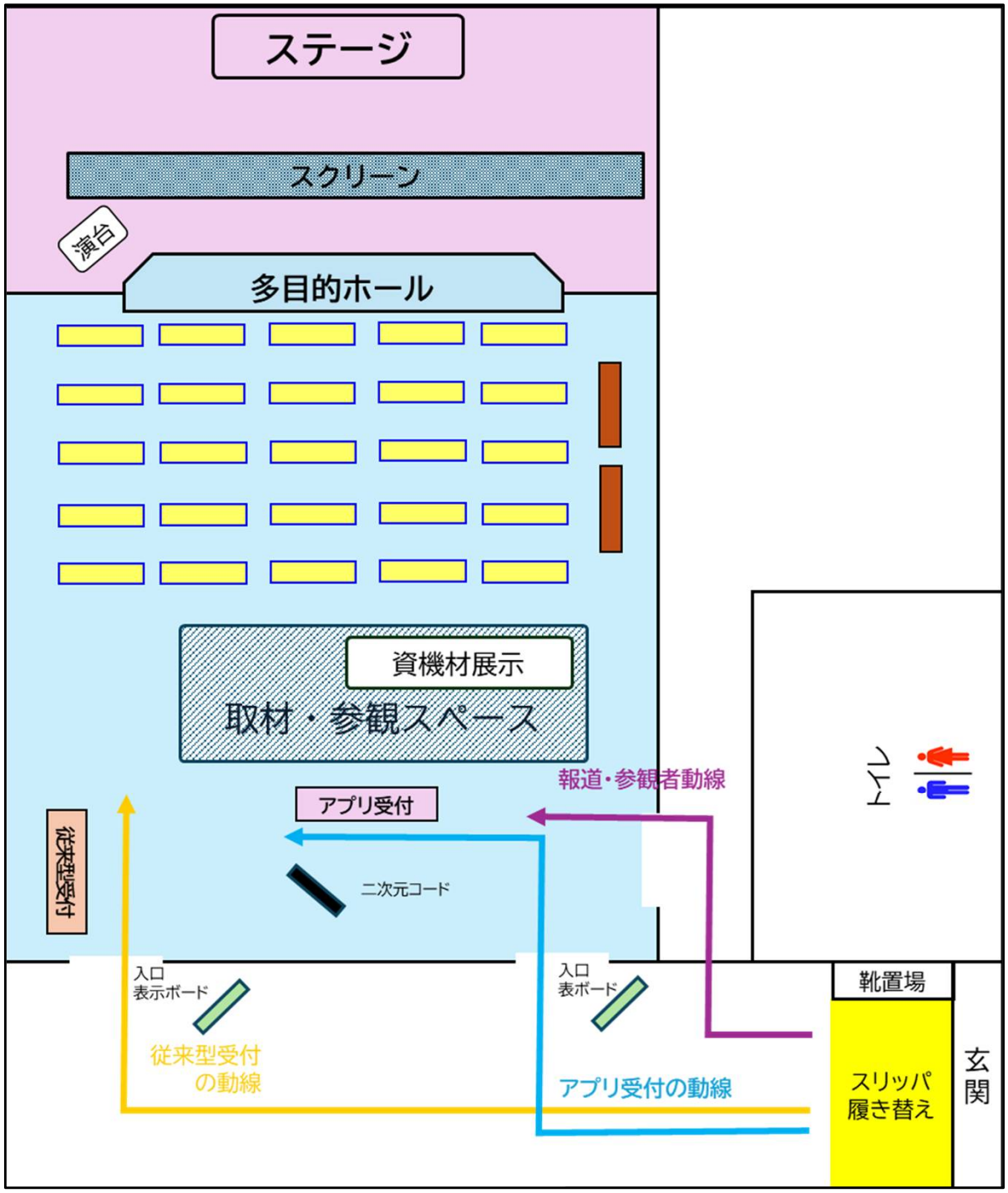
【注意事項】

◆住民の到着は、訓練当日の道路状況等により前後する場合があります。

◆会場内に掲示してある避難所受付用の二次元コードを「ポケットサイン」で読まないでください。訓練参加者以外の方を避難所受付をすることになってしまいます。円滑な訓練とするためにも御理解願います。

◆円滑な訓練進行のため、住民への個別取材は御遠慮願います。
※11:35～：住民２名へのインタビューの時間を設けます。
※11:50～：県原子力安全対策課長と登米市長への取材時間を設けます。

◆ドローンのデモフライトは、上記取材対応終了後に職員が実施場所まで誘導します。

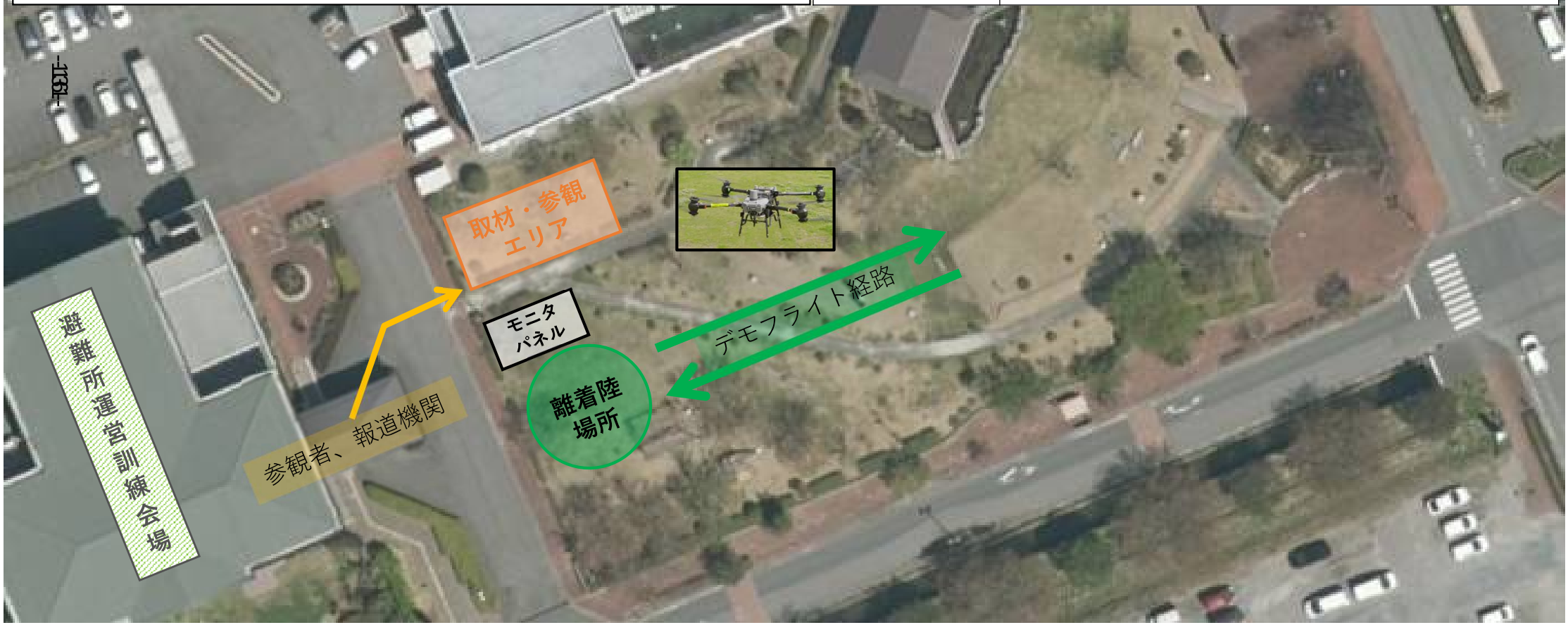


ドローンによる物資供給訓練

【タイムスケジュール】
12:05　参観者・報道機関 案内
↓
12:10　デモフライト開始
↓　・パネルによる概要説明
↓　・物資の積載
↓　・離陸及び映像伝送
↓　・ウインチによる物資輸送及び着陸
12:30　デモフライト終了

天候等の影響により中止する場合があります。
中止となった場合は、避難所運営訓練会場で機材展示等を行います。

使用予定機体	マルチコプター型ドローン 
サイズ	2800×3085×947 mm（長さ×幅×高さ） （アーム&プロペラ展開時）
飛行時間 （最大重量時）	18分（重量負荷30 kg・デュアルバッテリー時） 8分（重量負荷40 kg・シングルバッテリー時） ※いずれも参考値
特長	貨物モードとウインチモードに対応した安全かつ効率的な運搬が可能



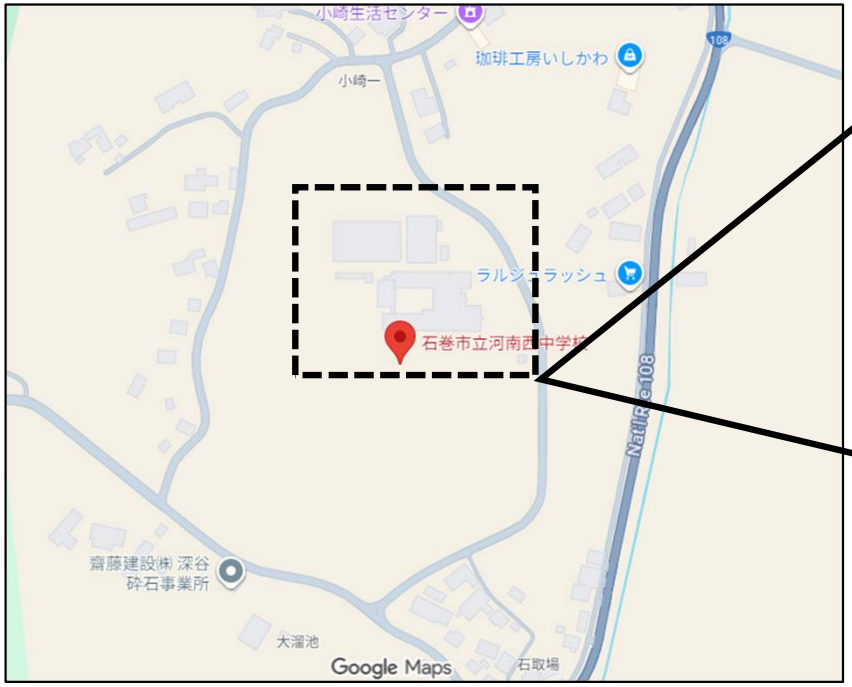
住民避難訓練（空路避難における着陸場所：河南西中学校）

訓練日：令和７年１１月１５日（土）

場所：石巻市北村字小崎一３７番地２

【タイムスケジュール】

09:15　雄勝（旧大須小学校）　発
↓　空路避難（航空自衛隊UH-60J）
09:30　河南西中学校　着
↓　航空自衛隊バスに乗り換え
09:40　河南西中学校　発
↓　陸路避難（バス）
10:00　避難退域時検査場所（鹿島台中央野球場）着
↓　避難退域時検査
10:30　避難退域時検査場所（鹿島台中央野球場）発
↓　陸路避難（バス）
11:30　避難所（スコーレハウス：岩出山文化会館）着





宮城県
Miyagi Prefecture

記　者　発　表　資　料
令　和　８　年　１　月　１　６　日
復興・危機管理部原子力安全対策課
022-211-2341 担当：太田、目黒

令和７年度原子力防災訓練（１月２４日実施分）について

令和７年１１月１５日に引き続き、下記のとおり令和７年度原子力防災訓練（住民避難訓練）を実施しますので、お知らせします。

１　実施日

令和８年１月２４日（土）

２　主　催

宮城県及び石巻市

３　訓練内容

石巻市蛇田地区の住民避難訓練

４　実施場所

石巻市、大崎市、加美町

５　住民参加人数・参加機関（予定）

（１）住民参加人数　約３０人

（２）参加機関　県、石巻市、加美町、色麻町、一般社団法人石巻薬剤師会、有限会社畳石観光、東北電力株式会社　約９０人

６　訓練の中止

災害等の発生及び発生の恐れがある場合など、やむを得ず訓練の中止や縮小等をすることがあります。訓練内容の変更・中止は、下記ウェブサイトに掲載しますので確認願います。

https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gentai/gentaib-kunren.html

---

※本資料は、下記記者クラブに発表しています。

「宮城県政記者会」及び「石巻記者クラブ」

令和７年度原子力防災訓練の取材について（お願い）

令和７年度原子力防災訓練の取材にあたりまして、当日は下記の点について御配慮いただきますようお願いします。

記

１　取材対応が可能な日時・場所は下記枠内のとおりです。
２　取材の際は、当日、会場の受付で名刺を提出の上、各社の腕章を着用してください。
３　取材時は、訓練に支障がないよう配慮するとともに、職員の指示に従ってください。
４　訓練進行上、各訓練項目の開始時間が多少前後する場合があります。
５　訓練会場及び訓練実施中の関係者へのインタビュー等は、御遠慮ください。

（１）大崎市鹿島台中央野球場（大崎市鹿島台木間塚字福芦３３５−１）

時間：10:00～10:50【事前説明：9:50～】

内容：避難退域時検査場所活動訓練

※車両通行のみ（住民への取材不可）

※住民はバス１台に乗車し 10:10 頃に通過予定（降車なし）

（２）加美町中新田体育館（加美町字一本杉５８）

時間：11:30～12:00【事前説明：11:10～】

内容：避難所運営訓練

※囲み取材対応の希望がある場合は、12:00 から県復興・危機管理部危機管理監が対応します。

令和7年度原子力防災訓練マップ
住民避難訓練（1月24日実施分）



住民避難訓練（避難退域時検査場所活動訓練：大崎市鹿島台中央野球場）

訓練日：令和8年1月24日（土）

場所：大崎市鹿島台木間塚字福芦３３５－１

【タイムスケジュール】

09:50　事前説明（参観者・報道機関向け）

↓　（受付場所は次ページ参照）

10:00～　車両到着・検査実施

↓　※石巻市住民（バス1台）到着は10:10頃を予定
※住民は降車しません

～10:50　訓練終了

【注意事項】

・訓練進行の都合上、住民への取材等はできません

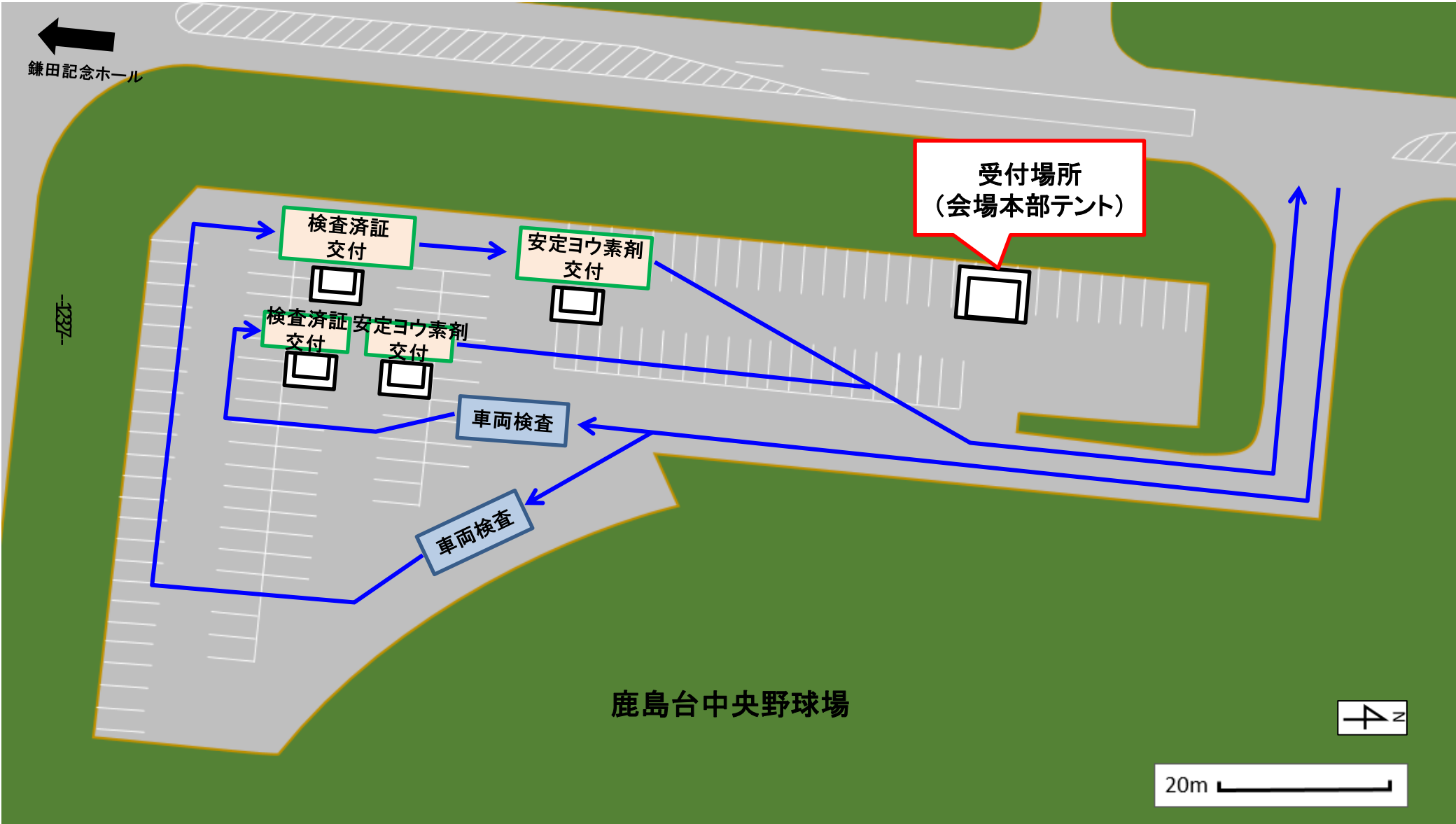
・こちらの会場を参観・取材した場合は、
避難所（加美町中新田体育館）の住民受付の参観・取材に間に合わない場合がありますので注意願います。





避難退域時検査場所レイアウト（大崎市鹿島台中央野球場）

- ◆ 会場内は車両が走行しますので、移動の際は十分に注意願います。
- ◆ 参観・撮影場所については、職員の指示に従ってください。
- ◆ 訓練中の要員への声がけ・質問は御遠慮ください。



住民避難訓練（避難所運営訓練：加美町中新田体育館）

訓練日：令和8年1月24日（土）

場所：加美町字一本杉５８

【タイムスケジュール】

11:10　事前説明（参観者・報道機関向け）（受付場所は次ページ参照）
11:30　住民到着・避難所受付
↓
11:55　住民出発
12:00　取材対応（県復興・危機管理部危機管理監）

【注意事項】

・避難退域時検査場所活動訓練（大崎市鹿島台中央野球場）を参観・取材した場合は、こちらの住民受付の参観・取材に間に合わない場合がありますので注意願います。



避難所運営訓練（加美町中新田体育館会場レイアウト）

◆この会場は石巻市の住民避難訓練の避難所です。

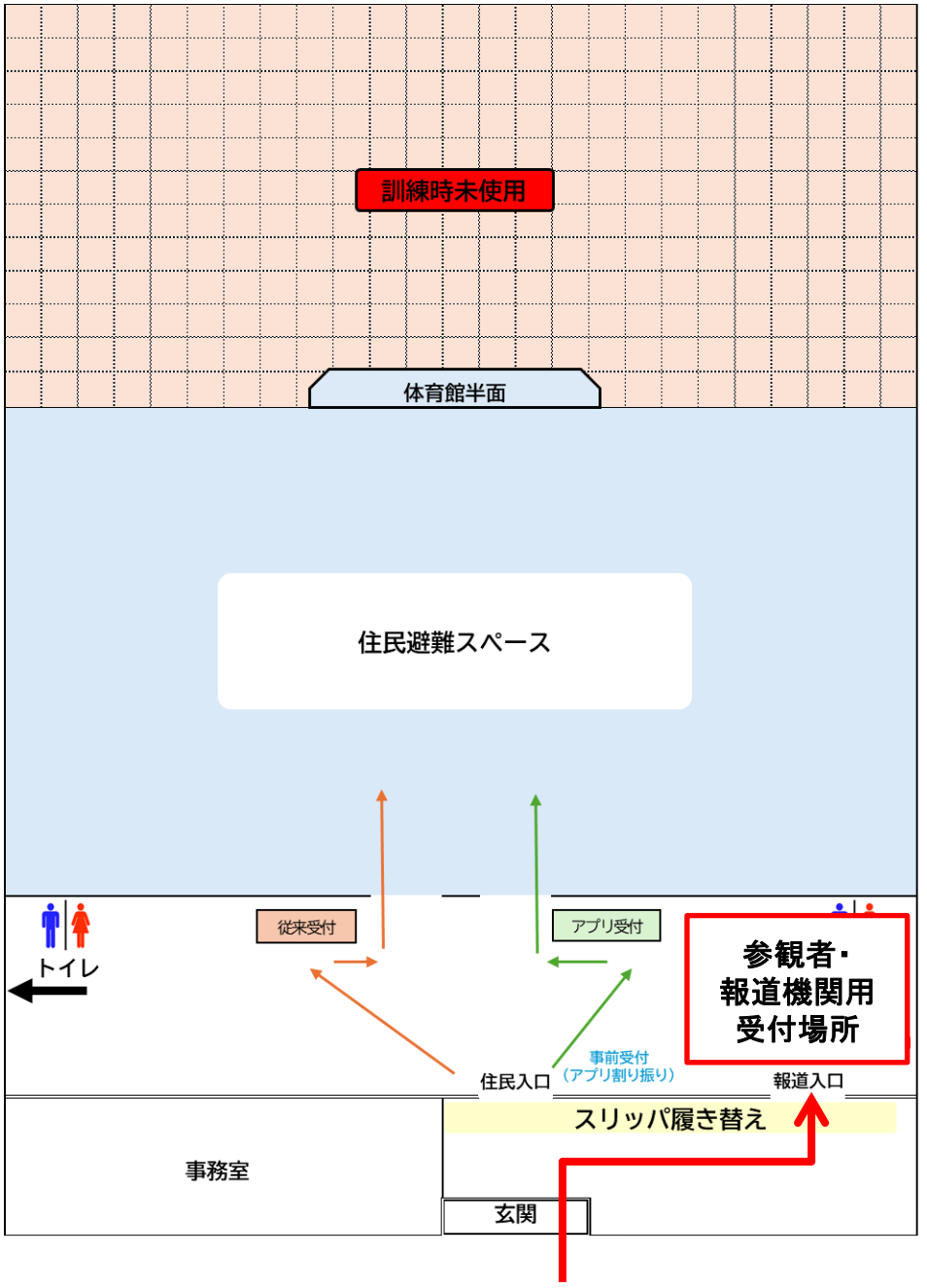
◆原子力防災アプリの利用者は、アプリによる避難所受付を行います。

【注意事項】

◆住民の到着は、訓練当日の道路状況等により前後する場合があります。

◆会場内に掲示してある避難所受付用の二次元コードを「ポケットサイン」で読取しないでください。訓練参加者以外の方を避難所受付をすることになってしまいます。円滑な訓練とするためにも御理解願います。

◆県復興・危機管理部危機管理監の囲み取材対応は、希望があれば、12:00頃（住民移動後）から行います。



Ⅴ　令和７年度原子力防災訓練新聞報道記事

女川原発で防災訓練

緊急事態を想定、連携確認

東北電力女川原発（宮城県女川町、石巻市）の重大事故に備える県の本年度の原子力防災訓練が11日、行われた。県と原発30㌔圏内7市町を中心とする92機関約300人が参加し、原発の冷却機能が失われるなどの「全面緊急事態」に対し、図上訓練で初動対応や連携を確認した。

訓練は三陸沖を震源とする最大震度6強の地震に伴う複合災害が発生、女川原発2号機の外部電源や原子炉の冷却機能が喪失し、首相が全面緊急事態を宣言したとの想定で行われた。

原発から約7㌔離れた県女川オフサイトセンター（女川町）の現地災害対策本部では、県と7市町の職員、東北電社員ら約100人が地震被害や住民避難、安定ヨウ素剤の配布状況といった情報を共有。国の原子力災害合同対策協議会の会議には各市長、町長がオンライン参加し、各地の状況を伝えた。

県庁では村井嘉浩知事をトップとする県災害対策本部の訓練が行われた。村井知事が海外出張中で不在のため、オンライン参加ができない局面も見通し、伊藤哲也副知事が本部長を代理して指揮を執った。

会議で東北電の担当者は、あらゆる対策が機能しなくなる事態まで30時間以上の時間的余裕があると説明し、県の各部局長が対応状況を報告した。伊藤副知事は「住民の避難に全力を挙げ、屋内に退避している住民に対する生活支援も滞りなく進める必要がある」と指示した。

9日には三陸沖を震源とするマグニチュード（M）6・9の地震があり、後発地震注意情報の発表基準となるM7・0に迫った。県の豊嶋潤危機管理監は「職員のアンテナを高くし、関係者と密に連絡を取りながら有事に備えたい」と話した。

訓練は今月15日と来年1月24日にも予定する。炉心が損傷し、空間放射線量が上昇したとして、避難や屋内退避などの防護措置を住民参加で訓練する。



可搬型モニタリングポストの設置方法確認した訓練

情報伝達、本部運営を実践

女川原発 県原子力防災訓練

県などは11日、東北電力女川原発2号機（女川町、石巻市）の重大事故を想定した本年度の原子力防災訓練を行った。92機関の約300人が参加し、情報伝達や災害対策本部の設置・運営手順を図上訓練で確認した。（1面に関連記事）

92機関300人 手順を確認

三陸沖で発生した地震で2号機の原子炉が緊急停止し、外部電源喪失で原子炉の冷却機能が失われ、炉心が損傷して放射性物質が放出されたとの想定。



テレビ会議で対応状況を共有する参加者

女川町の県女川オフサイトセンターには国や県、立地2市町、原発から30キロ圏内に入る5市町など約20機関の約100人が集まった。県庁や7市町をつないだテレビ会議では、原発の被災状況、住民避難、医療チーム派遣などの情報を共有。各自治体の担当者は、避難指示や屋内退避の指示を対象エリアに出したことを報告した。

現地災害対策本部の県職員は、県庁の災害対策本部会議にウェブで参加した。空間放射線量を測定する可搬型モニタリングポストの設置訓練も行い、県職員ら5人が駐車場へ運び出し、設置から測定までを実践した。

県原子力安全対策課の太田純一課長は「関係機関との調整、連携の仕方を確認でき、効果的な訓練になった」と訓練を総括。その上で「原子力災害は本来起こってはならないが、大規模災害の備えは必要。地域の防災意識を高めるためにも、住民には避難訓練に積極的に参加してほしい」と呼びかけた。

15日は住民避難 空路でも

県原子力防災訓練のうち、住民参加の避難訓練は15日に実施する。既定の計画に基づき指定避難先に移動する手順や、スマートフォンの避難支援アプリの運用方法などを確認。津波で孤立地域が発生したとの想定でヘリコプターによる空路避難も行う。

訓練は県、国、原発30キロ圏内7市町が主催し、住民計約250人が参加。11日と同じく、三陸沖で発生した地震で大津波警報が発表され、女川原発2号機が緊急停止し、原子炉が冷却機能を喪失して炉心が損傷して放射性物質が放出されたとの想定。

石巻市牡鹿地区では「全面緊急事態」想定の訓練を行い、住民5人がバスで避難。同市雄勝地区の住民2人はヘリコプターで石巻市河南地区まで空路避難し、バスに乗り換える。ともに車両の放射線量を測る「避難退域時検査場所」を経て大崎市へ移動する。避難退域時検査場所の運用状況も検証する。

東松島市では、矢本東と大塩地区の住民46人が仙台市太白区へ移動する。女川町の女川南、西など4地区の住民36人はバスや自家用車で栗原市に向かう。

各避難所では避難支援アプリを使用して受け付けなどを済ませる。ドローンによる物資運搬のデモフライトも行う。

石巻市の住民が加美町に避難する訓練は、来年1月24日に実施する。

ドローン輸送 初実施

女川原発で原子力防災訓練

県は15日、東北電力女川原発（女川町、石巻市）の重大事故に備え、本年度の原子力防災訓練を実施した。立地自治体の女川、石巻両市町と原発30㌔圏内5市町など30機関約330人が参加。避難誘導や避難所設置の手順を確認した。

11日の図上訓練に続き本年度2度目。44人が参加した登米市では、同市津山町の住民がバスで移動し、同市登米町で避難退去時の検査を受けたのち、同市中田町の農村環境改善センターに向かった。

避難所での受け付けの際は、スマートフォンによる避難支援アプリの活用法を確かめた。

参加した同市津山町の菊地貞次さん(73)は「避難の注意点が分かったが、要介護の高齢者への対応が十分に行われるのかどうか気になった」と振り返った。

センター敷地内では、物資輸送ドローンの訓練も初めて行われた。県と災害協定を結ぶ「J DRONE（ジェイ・ドローン）」（東京）の担当者が、非常食24食分など重さ計23㌔の支援物資を積んだドローンを操縦。目的の場所に物資を下ろす作業を確認した。

県原子力安全対策課の千葉宏樹課長は「避難の流れがおおむね確認できた。避難する際は正しい知識と情報収集の大切さを知ってほしい」と総括。ドローン運用については「災害で孤立した住民の不安解消につながる」と話した。

訓練は、三陸沖を震源とする最大震度6強の地震に伴う複合災害が発生、女川原発2号機の外部電源や原子炉の冷却機能が喪失し、首相が全面緊急事態を宣言したとの想定で実施。来年1月24日にも避難訓練を予定する。



初めて行われた物資輸送ドローンの訓練＝15日午後0時15分ごろ、登米市中田町

避難手順 陸・空で確認

女川原発事故想定 県が原子力防災訓練

7市町住民 支援アプリも体験

県は15日、東北電力女川原発（女川町、石巻市）の重大事故を想定した本年度の原子力防災訓練を行った。立地2市町と30㌔圏内5市町の住民計193人が参加し、既定の計画に基づき指定避難先に移動する手順や、スマートフォンの避難支援アプリの運用方法などを確認した。

三陸沖を震源とする地震で大津波警報が発表される中、2号機が緊急停止し、原子炉が冷却機能を喪失して炉心が損傷、放射性物質が放出されたとの想定で行われた。

石巻、東松島、女川の3市町では84人の住民がバスや自家用車で、車両の放射線量を測る「避難退域時検査場所」を経て、県内の避難先へ移動。石巻市雄勝地区の住民2人は旧大須小グラウンドから、ヘリコプターで約30㌔離れた河南西中に避難した。

登米市の農村環境改善センターには、同市津山地区の住民44人がバスで避難。避難支援アプリで、受け付け登録などを体験した。

同市津山町柳津地区の無職菊地貞次さん(73)は、近隣住民ら約20人とマイクロバスで避難した。「訓練で手順を確認できて良かったが、要介護の家族もおり、避難所での対応には不安もある。実際に町内一斉避難になれば交通渋滞も起きるのではないか」と懸念を示した。

避難所での受け付けについて「アプリは敷居が高くて使えない。孫に教えてもらい、使えるように勉強したい」と話した。

県原子力安全対策課の千葉宏樹課長は取材に「おおむね一通りの流れ確認できたが、これで完璧ということはない。各自治体と情報共有し、より実効性の高いものにしていく。住民には今後も訓練に参加してもらい、原子力防災について知識を深めてほしい」と話した。

災害時のドローン（小型無人機）による物資運搬などの協定を県と結んでいるJDRONE（東京）によるデモフライトが初めて行われた。



避難支援アプリで受付する避難訓練参加者たち
＝15日午前11時20分ごろ、登米市の中田農村環境改善センター



石巻市河南地区までヘリコプターで避難した雄勝地区住民ら。到着後にバスに乗り換えた＝15日午前9時40分ごろ、同市河南西中